

# こ れ ま で の

## 2006年4月

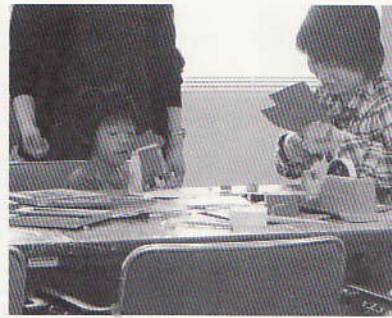
### ゴールデンウィークイベント

二〇〇六年五月三日～五月五日

今年も恒例のゴールデンウィークイベントを開催し、記念館は連日多くの子供たちで賑わいました。

「つくってみよう」コーナーでは子供の日にちなんで、鯉のぼりのカードを作ってもらいました。開くと鯉のぼりが飛び出す仕掛けに子供たちも喜んで遊ぶ様子でした。また「みんなで作ろう」コーナーでは、空き箱を使ったデンデン太鼓や厚紙で作る跳ねるおもちゃ、ビニールに好きな絵を描いて作る風船など楽しみながら、簡単に作れるおもちゃを紹介しました。研修

室では「忍たま乱太郎」や「おじゃる丸」「鉄腕アトム」など人気のアニメを上映し、子供たちのみならず、お母さんたちにも大変好評でした。



▲デンデン太鼓作りの様子

### 記念館で夏休み

二〇〇六年八月五日

夏休みを記念館で楽しく過ごしてもらおうと、イベントを開催しました。

夏を感じる企画として、七夕飾りや、風鈴を作るコーナーを設けました。今回は七夕飾りの作り方だけでなくその歴史や、意味なども紹介し、学びながら

楽しめる内容にしました。研修室では懐かしい紙芝居や小津安二郎監督の代表作『東京物語』を上映しました。昭和の郷愁を感じると大変好評でした。ラウンジではアイスやラムネを販売し、まとめ買いする人の姿も見られました。

### 新収蔵史料展

二〇〇六年七月十五日～十月一日

二〇〇六年三月に、吉野家ご遺族より旧古川市に寄贈された史料三十一点のうち、新発見を中心に十五点を展示しました。

この史料の多くは、吉野の三女・故小松光子氏が自宅に保管していたもので、明治文化研究会の成果となる書籍や自筆の自宅表札など、吉野とゆかりの深い史料です。また孫文直筆の書「天下為公」は開館当時より当館常設展示室にて複製を展示していましたが、今回本物の寄贈を受けました。この書は孫文と吉野の交流を示す唯一のものとして歴史的価値の高い史料で、見学

に訪れた方々の関心と呼んでいました。



▲常設展示室入口にて展示



▲風鈴コーナーの様子



▲道具も使って昔ながらの紙芝居